



クラブテーマ

美点凝視と信頼で 将来のリーダーづくり

会長：野原 哲夫 副会長：高野 則子 幹事：竹内 儀治

週報 437

第 644 回 例会日 2017 年 10 月 31 日 卓話例会「I O T ・ A I 技術革新の今」

会長挨拶 第 14 代会長 野原 哲夫

2 週続けて週末に台風 21 号と 22 号が日本列島を襲い、各地域に災害をもたらし、最近急に冷え込みました。

本日の例会は、「I O T ・ A I 技術革新の今とコンピューター社会の問題点」という演題で、キャノンシステムアンドサービスの角田様に、政府が提唱している「働き方改革」に I O T や A I がどう関わっていくか？大変注目すべき問題です。

ところで、先週の例会は、社会奉仕活動として移動例会でありました。

さいたま市中央区役所正面入口に、花壇設置とレッズ・ローズというバラの木を植樹し、その後約 1 時間区長様はじめ幹部の方と懇談会ができました。

工事中に台風が来て、予定通り完工式ができるか心配されましたが、厚川会員の御努力によって、無事立派な花壇の設置と植樹ができました。

2 月に地区補助金の研修を受け、R I 会長が環境問題に注目し、今年度の目標「ロータリアン、ひとり一本の植樹をしよう」を達成しようと打合せを続け、地域の行政機関と関係を密にし、方向性が出来上がりました。

特に、諸問題を乗り越えて尽力された荒蒔会員には、感謝申し上げます。

地域の要請を受けて、区民の顔となる区役所入口に、当クラブが寄贈した表示版を掲げた花壇を設置したことは、クラブの社会奉仕活動の歴史に残る、素晴らしい事業であることを会員の皆様は誇りに思うと共に、近くに行った際には、是非ご覧頂き、温かく見守ってください。

先週の金曜日には、地区の職業奉仕セミナーに参加しました。

講師は、株式会社 そうじの力 代表取締役 小早 祥一郎

テーマは、「そうじのから生まれる力とは」

そうじの力の考え方とは？

① 整理、つまり要るものと要らないものを仕分けて、要らないモノを処分

② 「使えるか使えないか」ではなく「使うか使わないか」で判断

③ 机上に山積みになっている書類を捨てて、「机上ゼロ」にする。

④ 倉庫内にあるものは、具体的に使うあてが無いモノは処分

⑤ 重要なことは、捨てることではなく、必要なものが常に最適手元にある状態を作ること

⑥ モノを表示と標識を施して、指定したものしか置けないようにする。

⑦ 誰でもどこに何があるか一目で分かる状態を作っておく。

⑧ 企業はいろいろな価値観を持つ人の集まりである。放っておけばベクトルがバラバラです。ところが環境整備をすることでそのベクトルが合う。

幹事報告 第 14 代幹事 竹内 儀治

1. 本日の例会：卓話

卓話者：キャノン(株)クラウドビジネス販売課 課長代理 角田 禎彦 様

同行者：キャノン(株)浦和営業所 所長 加藤悦仁 様

2. クラブからの連絡

(1) 11/11 (土) 地区大会：浦和ロイヤルパインズホテル 4 F 13 時点鐘

対象／地区役員、会長・幹事、次年度会長・幹事、5 大奉仕委員長

11/12 (日) 地区大会第 2 本会議：さいたま市文化センター 11：30 登録開始

対象／全会員

(2) 例会終了後は、1 時間会員による「情報交換会」を 2 階「秋が瀬」で行いますので、ご参加お願いします。



